SONY

4-298-825-**01**(1)

ワイヤレススピーカーシステム

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。
この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

Bluetooth®

SRS-BTV25/RDP-NWV25B

⚠警告

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードのプラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットやACアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

❶ 電源を切る
❷ 電源コードをコンセントから抜く
❸ ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・漏液・発熱・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

行為を禁止する記号

行為を指示する記号

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。　**http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口
フリーダイヤル……………… 0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥ 0466-31-2511

修理相談窓口
フリーダイヤル……………… 0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥ 0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「309」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通）0120-333-389

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

⚠危険　下記の注意事項を守らないと**火災・感電・発熱・発火**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

付属以外のACアダプターを使わない

家庭用電源で使用するときは、必ず付属のACアダプターを使用してください。
破裂や過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。

禁止

火の中に入れない

禁止

分解しない

故障や感電の原因となります。内部の点検および修理はソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご依頼ください。

分解禁止

火のそばや炎天下などへ放置しない

禁止

⚠警告　下記の注意事項を守らないと**火災・感電・発熱・発火**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

内部に水や異物を入れない

火災や感電の危険をさけるために、本機を水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、本機の上に、例えば火のついたローソクのような、火炎源を置かないでください。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

禁止

本機背面の端子や通風孔に異物を入れない

端子などがショートして、誤動作や故障の原因となることがあります。

禁止

雷が鳴りだしたら、ACアダプターに触れない

感電の原因となります。

接触禁止

ぬれた手でACアダプターと電源コードにさわらない

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

本体やACアダプターを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

禁止

電源コードは抜き差ししやすいコンセントに接続する

本機は容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。通電、本機の電源を切っただけでは、完全に電源から切り離せません。

指示

⚠注意　下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、デジタルオーディオプレーヤーなど、雑音の少ないデジタル機器を聞くときにはご注意ください。

禁止

通電中のACアダプターや製品に長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。

禁止

本機を航空機内で使わない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

禁止

本機を医療機器の近くで使わない

電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。満員電車などの混雑した場所や医療機関の屋内では使わないでください。

禁止

本機を心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm以上離す

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

注意

長時間使用しないときは電源コードを抜く

長時間使用しないときは、安全のため電源コードをコンセントから抜いてください。

プラグをコンセントから抜く

お手入れの際、電源コードを抜く

電源コードを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

本機は国内専用です

海外では国によって電波使用制限があるため、本機を使用した場合、罰せられることがあります。

指示

*Bluetooth*機器について

機器認定について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。
- 本機を分解／改造すること

周波数について

本機は2.4 GHz帯の2.4000 GHzから2.4835 GHzまで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。ソニーの相談窓口については、本取扱説明書をご覧ください。

この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10 mです。

機銘板は、本機の底面に表示してあります。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは
お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社ではワイヤレススピーカーシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。

使用上のご注意

携帯電話について

- 本機と携帯電話を*Bluetooth*接続しても、通話に使用することはできません。
- 携帯電話から本機へ音楽を送信しているときに、着信があった場合の携帯電話の動作について、詳しくはお使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

安全について

- 付属のACアダプターをお使いになるときは、家庭用電源コンセント（AC100 ～ 240 V）につないでお使いください。

電源コードについて

- 電源コードを抜くときは、コードを引っ張らずに、必ずプラグ部を持って抜いてください。

留守にするときは

- 本機のI/⏻ボタンを押しただけでは、電源は完全に切れていません。
ご旅行などで長い間お使いにならないときは、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

異物について

- 特に、ジャック部には異物を入れないでください。故障や事故の原因になります。

異常や不具合が起きたら

- 万一、異常や不具合が起きたときや異物が中に入ったときは、すぐに電源コードを抜き、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

取り扱いについて

- スピーカーユニット、内蔵アンプ、キャビネットは精密に調整してあります。分解、改造などはしないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
  - 直射日光の当たる所、暖房器具の近くなど、温度の高い所
  - 窓を閉め切った自動車内（特に夏季）
  - 風呂場など、湿気の多い所
  - ほこりの多い所、砂地の上
  - 時計、キャッシュカードなどの近く（防磁設計になっていますが、録音済みテープや時計、キャッシュカード、フロッピーディスクなどは、スピーカーの前面に近づけないでください。）
- 平らな場所に設置してください。
- 設置条件によっては、倒れたり落下したりすることがあります。貴重品などを近くに置かないでください。
- 持ち運ぶ際、フロッピーディスクやクレジットカードなど磁気の影響を受ける物は、スピーカーシステムの近くに置かないでください。
- キャビネットが汚れたときは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、使わないでください。

モニター画面について

- このスピーカーシステムは防磁型（JEITA）のため、モニターのそばに置いて使うことができますが、モニターの種類により色むらが起こる場合があります。
色むらが起きたら
いったんモニターの電源を切り、15 ～ 30分後に再び電源を入れてください。
それでも色むらが残るときは
スピーカーをさらにモニターから離してください。
さらに
スピーカーの近くに磁気を発生するものがないようにご注意ください。スピーカーとの相互作用により、色むらを起こす場合があります。
磁気を発生する物
ラック、置き台の扉に装着された磁石、健康器具、玩具などに使われている磁石など。

その他のご注意

- 他に疑問点や問題点がある場合は、もう一度この取扱説明書をよく読んでから、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

故障かな?と思ったら

修理にお出しになる前に、もう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、ソニーの相談窓口にお問い合わせください。

共通

音が出ない
- 本機と再生機器の電源が入っているか確認する。
- 本機の音量を上げる。
- 再生機器の音量を音がひずまない範囲でできる限り大きくする。音量の調節については、再生機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 本機と再生機器を正しく接続しているか確認する。
- 接続した機器が再生の状態になっているか確認する。

音が小さい
- 再生機器の音量を音がひずまない範囲でできる限り大きくする。音量の調節については、再生機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 本機の音量を上げる。

音がひずむ
- 再生機器の音量を音がひずまなくなるまで下げる。音量の調節については、再生機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 再生機器のバスブースト機能を無効にする。
- 本機の音量を下げる。

音が割れる、またはノイズが出る
- 本機と再生機器を正しく接続しているか確認する。
- 再生機器をテレビに近すぎる所に設置していないか確認する。

POWERランプ（緑色）がちらつく
- 音量を上げたときにPOWERランプ（緑色）がちらつくことがありますが、故障ではありません。

***Bluetooth*接続で使用したとき**

音が出ない
- 本機と*Bluetooth*機器の距離が離れすぎていないか、無線LANや他の2.4 GHz無線機器や電子レンジなどの影響を受けていないか確認する。
- 本機と*Bluetooth*機器を正しく*Bluetooth*接続しているか確認する。
- 本機と*Bluetooth*機器を再度ペアリングする。
- パソコンとペアリングしている場合、パソコンの音声出力先が*Bluetooth*機器になっているか確認する。

音が途切れたり、接続が途切れる
- 無線LANや他の*Bluetooth*機器、電子レンジを使用している場所など、電磁波を発生する機器がある場合は、その機器から離れてご使用ください。
- 本機と*Bluetooth*機器との間に障害物がある場合は、障害物を避けるか取り除いてください。
- 本機と*Bluetooth*機器をできるだけ近付ける。
- 本機の位置を変える。
- 接続相手の*Bluetooth*機器の位置を変える。

ペアリングできない
- 本機と*Bluetooth*機器をできるだけ近付ける。
- ペアリングモードになっているか確認する。

USB充電について

お使いの機器が充電できない
- 本機の電源コードがコンセントに接続されているか確認する。
- お使いの機器の充電方法を確認する。

主な仕様

スピーカー部

使用スピーカー	ウーファー：直径56 mm（防磁型） ツィーター：直径20 mm
形式	バスレフ型
インピーダンス	ウーファー：6 Ω ツィーター：6 Ω

アンプ部

実用最大出力	13 W（全高調波歪10 %、1 kHz、6 Ω）
入力	ステレオミニジャック×1
入力インピーダンス	4.7 kΩ（1 kHz）

Bluetooth

通信方式	*Bluetooth* 標準規格Ver. 2.1+EDR*1
出力	*Bluetooth* 標準規格Power Class 2
最大通信距離	見通し距離約10 m*2
使用周波数帯域	2.4 GHz 帯（2.4000 GHz ～ 2.4835 GHz）
変調方式	FHSS
対応*Bluetooth* プロファイル*3	A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）、AVRCP 1.3（Audio Video Remote Control Profile）
対応コーデック*4	SBC*5
対応コンテンツ保護	SCMS-T 方式
伝送帯域（A2DP）	20 Hz ～ 20,000 Hz（44.1 kHz サンプリング時）

*1 Enhanced Data Rate の略
*2 通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わる場合があります。
*3 *Bluetooth* プロファイルとは、*Bluetooth*機器の特性ごとに機能を標準化したものです。
*4 音声圧縮変換方式のこと
*5 Subband Codec の略

USB

USB 端子	Aタイプ（接続機器の充電用） （5 V, 500 mA）

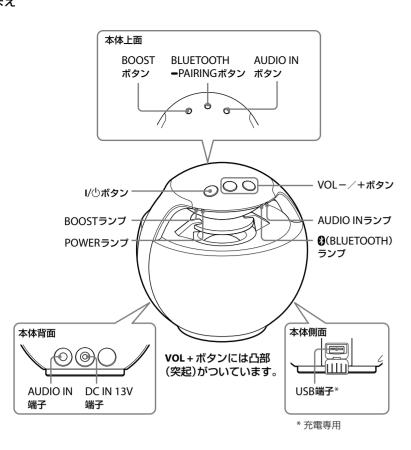
電源部・その他

電源	DC 13 V
使用温度範囲	5 ℃～ 35 ℃
電源電圧	100 V ～ 240 V AC
最大外形寸法	約145 mm × 145 mm × 145 mm（幅／高さ／奥行き）
質量	約500 g

付属品
ACアダプター（1）
電源コード（1）
USBケーブル（1）（SRS-BTV25の場合）
WM-PORT専用USBケーブル（1）（RDP-NWV25Bの場合）
取扱説明書（本書）（1）
接続ガイド（1）
保証書（1）
ソニーご相談窓口のご案内（1）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

裏面へつづく

各部のなまえ

各部のはたらき

I/⏻（電源）ボタン
電源を入／切します。電源が入るとPOWERランプ（緑色）が点灯します。

VOL（音量）－／＋ボタン
音量を調節します。
音量を最小または最大にしたときは、POWERランプ（緑色）が3回点滅します。

BOOSTボタン
低音効果が得られます。本機のBOOSTランプ（黄褐色）が点灯します。通常の音質に戻すには、もう一度BOOSTボタンを押してください。BOOSTランプ（黄褐色）は消灯します。
初期設定は「入」になっています。お好みで「切」にしてご使用ください。

BLUETOOTH━PAIRINGボタン
*Bluetooth*機器と*Bluetooth*接続するときやペアリングするときに使います。
通信状態によって、(BLUETOOTH)ランプ（青色）が点灯または点滅します。(BLUETOOTH)ランプ（青色）の表示について詳しくは、「*Bluetooth*機能のランプ表示について」をご覧ください。

AUDIO INボタン
AUDIO IN入力に切り換えます。本機のAUDIO INランプ（黄褐色）が点灯します。

AUDIO IN端子
パソコンや、ポータブルオーディオ機器などのヘッドホン端子につなぎます。

DC IN 13V端子
付属のACアダプターをつなぎます。

USB端子
USBケーブルで本機と接続した機器を充電します。
本端子は接続機器の充電専用です。音楽信号やその他の信号の通信はできません。

こんなことができます

本機は、*Bluetooth*無線技術を利用したワイヤレススピーカーシステムです。

- *Bluetooth*対応音楽プレーヤー（携帯電話、デジタルミュージックプレーヤー、*Bluetooth*トランスミッターを接続したデジタルミュージックプレーヤー、パソコンなど）*[1]の音楽をワイヤレスで楽しむことができます。
- 周囲の電波の影響による音切れが発生しにくい*Bluetooth*標準規格Ver.2.1＋EDR採用。
- 実効出力13 Wのハイパワーデジタルアンプにより、高音質かつ大迫力のサウンドを再現します。
- *Bluetooth*無線技術に対応していないオーディオ機器とつなぐことのできる1アナログ入力装備。
- テレビの側に置いても画面に影響を与えることが少ない防磁設計（防磁型/JEITA*[2]）。
- 携帯電話や"ウォークマン"など、USB充電に対応した機器を充電することができます。

*Bluetooth*無線技術で接続し、ワイヤレスで音楽を楽しむ

*Bluetooth*対応音楽プレーヤー（携帯電話、デジタルミュージックプレーヤー、*Bluetooth*トランスミッターを接続したデジタルミュージックプレーヤー、パソコンなど）*[1]から送信されたステレオオーディオ信号を受信し、音楽をワイヤレスで楽しむことができます。

*[1] 接続する*Bluetooth*機器が、A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）に対応している必要があります。
*[2] JEITAは電子情報技術産業協会の略称です。

電源について

電源管理システム

再生が停止してから、本機を使用しない状態が20分間続いた場合は、本機の電源は自動的に切れます。

付属のACアダプターを本機背面のDC IN 13V端子にしっかり差し込んだあと、電源コードをコンセントに差し込んでください。

ACアダプターと電源コードについてのご注意

- 電源コードを抜き差しする前に電源をお切りください。電源を入れたまま抜き差しすると、誤動作の原因になる場合があります。
- この製品には、付属のACアダプター（極性統一形プラグ・JEITA規格）をご使用ください。付属以外のACアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。

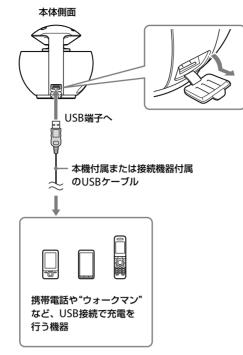
極性統一型プラグ

- 電源コードは容易に手が届くようなコンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。
- ACアダプターを本棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に設置しないでください。
- 火災や感電の危険をさけるために、ACアダプターを水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、ACアダプターの上に花瓶などの水の入ったものを置かないでください。
- 付属の電源コードセットは本機専用です。他の機器ではご使用になれません。
- 本機のランプが一斉に点滅している場合は、本機が保護モードになっています。その際、ボタン操作が出来ませんので、電源コードを一度コンセントから抜き、再度差し込んでください。ランプが消灯していましたら、電源を入れ、接続操作を再開してください。なお、ランプが継続して点滅していたり、接続操作後、音が出ないなど異常が起こったりする場合は、故障の可能性がありますので、速やかに電源コードをコンセントから抜き、修理依頼をしてください。

本機の電源を入／切する

本機のI/⏻ボタンを押してください。

お使いの機器を充電する

本機の電源コードをコンセントに接続し、本機付属または接続機器付属のUSBケーブルで、お使いの機器を本機に接続してください。
本機の電源の「入」「切」にかかわらず、自動的にお使いの機器の充電を開始します。充電の状態はお使いの機器本体に表示されます。詳しくは、お使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

*Bluetooth*接続で使う

*Bluetooth*接続により、*Bluetooth*機器で再生する音楽をワイヤレスで楽しめます。

ご注意
- 接続する機器の使いかたについて詳しくは、お使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

ペアリングとは

*Bluetooth*機器では、あらかじめ、接続しようとする機器を登録しておく必要があります。この登録のことをペアリングといいます。
一度ペアリングすれば、再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合は再度ペアリングが必要です。
- 修理を行ったなど、ペアリング情報が消去されてしまったとき。
- 10台以上の機器をペアリングしたとき。
  本機は合計9台までの*Bluetooth*機器をペアリングすることができます。9台分をペアリングしたあと新たな機器をペアリングすると、9台のなかで最後に接続した日時が最も古い機器のペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
- 本機を初期化したとき。
  すべてのペアリング情報が消去されます。

ペアリングする

操作をはじめる前に、以下の点をご確認ください。
- 本機が電源に接続されている。
- 接続する*Bluetooth*機器の取扱説明書を準備する。

1. **本機のI/⏻ボタンを押して電源を入れる。**
   POWERランプ（緑色）が点灯します。
2. **BLUETOOTH━PAIRINGボタンを2秒以上押し続ける。**
   本機の(BLUETOOTH)ランプ（青色）が早く点滅し始めたらボタンを放してください。本機がペアリングモードになります。
   ご注意
   - 本機のペアリングモードは、約5分で解除されます。手順が完了する前に本機のペアリングモードが解除されてしまった場合は、もう一度手順2から操作を行ってください。
3. ***Bluetooth*機器でペアリング操作を行い、本機を検索する。**
   検出した機器の一覧が*Bluetooth*機器の画面に表示されます。本機は「SRS-BTV25」（RDP-NWV25Bの場合は、「RDP-NWV25B」）と表示されます。
   「SRS-BTV25」（RDP-NWV25Bの場合は、「RDP-NWV25B」）と画面に表示されない場合は、もう一度手順2から操作を行ってください。
   ヒント
   - ペアリングしている機器が1つもない場合にBLUETOOTH━PAIRINGボタンを押すと、本機は自動でペアリングモードになります。BLUETOOTH━PAIRINGボタンを2秒以上押し続ける必要はありません。
   ご注意
   - ペアリングするときは、本機と*Bluetooth*機器を、1 m以内に置いてください。
   - 機器によっては検出した機器の一覧を表示できない場合があります。
4. ***Bluetooth*機器の画面に表示されている「SRS-BTV25」（RDP-NWV25Bの場合は、「RDP-NWV25B」）を選択し、決定する。**
5. ***Bluetooth*機器の画面でパスコード*の入力を要求されたら「0000」を入力する。**
   * パスコードは、パスキー、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。
6. ***Bluetooth*機器で*Bluetooth*接続操作を行う。**
   本機は相手側*Bluetooth*機器を最後に接続した機器として記憶します。
   また、相手側*Bluetooth*機器によっては、ペアリングが完了すると自動的に本機と*Bluetooth*接続した状態になる場合があります。
   ヒント
   - 複数の*Bluetooth*機器とペアリングするには、ペアリングしたい機器ごとに手順2～5を繰り返してください。

ご注意
- 本機のパスコードは「0000」に固定されています。パスコードが「0000」でない*Bluetooth*機器とペアリングすることはできません。

音楽を聞く

本機はSCMS-T方式のコンテンツ保護に対応しています。SCMS-T方式対応の携帯電話やワンセグTVなどの音楽（または音声）を、本機で聞くことができます。
操作をはじめる前に、以下の点をご確認ください。
- *Bluetooth*機器の*Bluetooth*機能が有効になっている。
- 本機と*Bluetooth*機器のペアリングが完了している。

1. **本機のI/⏻ボタンを押して電源を入れる。**
   POWERランプ（緑色）が点灯します。
2. **BLUETOOTH━PAIRINGボタンを押す。**
   ご注意
   - (BLUETOOTH)ランプ（青色）が点滅している場合は、この手順は必要ありません。
3. ***Bluetooth*機器から本機へ、*Bluetooth*接続を開始する。**
4. ***Bluetooth*機器で再生を始める。**
   ご注意
   - *Bluetooth*機器のバスブースト機能やイコライザー機能は無効にしてください。これらの機能が有効になっていると音がひずむことがあります。
5. **音量を調節する。**
   *Bluetooth*機器を適度な音量にして、本機のVOL－／＋ボタンで調節します。
   ヒント
   - AVRCP（Audio Visual Remote Control Profile）VOLUME UP/DOWNに対応した*Bluetooth*機器と接続してお使いの場合は、*Bluetooth*機器から本機の音量を調節できます。詳しくは、お使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
   - お使いの機器によっては、本機を適度な音量に正しく調節できない場合があります。
   ご注意
   - 音量を最小または最大にしたときは、POWERランプ（緑色）が3回点滅します。

ご注意
- 以下の場合、もう一度*Bluetooth*接続をする必要があります。
  - 本機の電源が切れている。
  - *Bluetooth*機器の電源が切れている、または*Bluetooth*機能が無効になっている。
  - *Bluetooth*接続が切断されている。
- 本機と*Bluetooth*機器が*Bluetooth*接続されている場合（POWERランプ（緑色）と(BLUETOOTH)ランプ（青色）が両方とも点灯している場合）、AUDIO IN端子に接続した機器からの音楽は聞こえません。AUDIO IN端子に接続した機器からの音楽を聞くときはAUDIO INボタンを押してください。
- 本機とペアリングしている複数の機器からの音声を、同時に本機で再生することはできません。

使い終わるには

以下の手順のいずれかで*Bluetooth*接続を切断してください。
- *Bluetooth*機器を操作して接続を切断する。詳しくは、お使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- *Bluetooth*機器の電源を切る。
- 本機の電源を切る。

*Bluetooth*機能のランプ表示について

状態	(BLUETOOTH)ランプ（青色）
ペアリング中	早く点滅
*Bluetooth*接続待ち	点滅
*Bluetooth*接続済み	点灯
*Bluetooth*スタンバイ「入」のとき	遅く点滅*
*Bluetooth*スタンバイ「切」のとき	消灯
AUDIO IN入力中	消灯

* *Bluetooth*スタンバイが「入」のときでも、ペアリング情報がない場合には消灯します。

*Bluetooth*スタンバイ機能を使う

*Bluetooth*スタンバイ機能を設定すると、本機の電源が「切」の状態でも、*Bluetooth*機器からの接続操作を受け付けます。

1. **本機の電源が入っている状態で、BLUETOOTH━PAIRINGボタンを押しながら、I/⏻ボタンを2秒以上押し続ける。**
   本機の電源が切れ、(BLUETOOTH)ランプ（青色）が点滅します。
   *Bluetooth*機器で*Bluetooth*接続操作を行うと、本機の電源が自動で入り、本機は*Bluetooth*接続を開始します。

ヒント
- *Bluetooth*スタンバイ機能を使って本機を待機させると、電源を入れたまま本機を待機させている場合と比べて、消費電力を少なくできます。

ご注意
- *Bluetooth*スタンバイ機能を解除して通常の状態に戻すには、もう一度手順1を行ってください。(BLUETOOTH)ランプ（青色）が消灯し、本機の電源が切れます。

AUDIO IN端子に接続して使う

AUDIO IN端子に接続した機器からの音楽を楽しめます。

ご注意
- 接続する機器の使いかたについて詳しくは、お使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

接続する

1. **別売りの接続コードRK-G136で、接続したい機器のヘッドホン端子と本機のAUDIO IN端子を接続する。**

標準タイプのヘッドホンジャック（カセットデッキなど）に接続するには

別売りの接続コードRK-G136およびプラグアダプターPC-234S、または別売りの接続コードRK-G136およびRK-G138をお使いください。

音楽を聞く

1. **本機のI/⏻ボタンを押して電源を入れる。**
   POWERランプ（緑色）が点灯します。
2. **AUDIO INボタンを押す。**
   ご注意
   - AUDIO INランプ（黄褐色）が点灯している場合は、この手順は必要ありません。
3. **接続した機器を再生する。**
4. **音量を調節する。**
   接続した機器を適度な音量にして、本機のVOL－／＋ボタンで調節します。
   ご注意
   - 音量を最小または最大にしたときは、POWERランプ（緑色）が3回点滅します。
5. **使用後は、I/⏻ボタンを押して電源を切る。**
   POWERランプ（緑色）が消灯します。

ご注意
- ラジオまたはチューナーを内蔵した機器を接続した場合、ラジオ放送が受信できなかったり、感度が大幅に低下したりする場合があります。
- 接続する機器のバスブースト機能やイコライザー機能は無効にしてください。これらの機能が有効になっていると、音がひずむことがあります。
- *Bluetooth*接続に切り換える場合は、BLUETOOTH━PAIRINGボタンを押してください。

本機を初期化する

本機を工場出荷時の設定に戻し、すべてのペアリング情報を削除します。

1. **本機の電源が入っている状態で、BOOSTボタンを押しながら、BLUETOOTH━PAIRINGボタンを5秒以上押し続ける。**
   POWERランプ（緑色）が2秒点滅します。

Bluetooth 無線技術について

*Bluetooth*無線技術は、パソコンやデジタルカメラなどのデジタル機器同士で通信を行うための近距離無線技術です。およそ10 m 程度までの距離で通信を行うことができます。
必要に応じて2 つの機器をつなげて使うのが一般的な使い方ですが、1 つの機器に同時に複数の機器をつなげて使うこともあります。
無線技術によってUSB のように機器同士をケーブルでつなぐ必要はなく、また、赤外線技術のように機器同士を向かい合わせたりする必要もありません。例えば片方の機器をかばんやポケットに入れて使うこともできます。
Bluetooth 標準規格は世界中の数千社の会社が賛同している世界標準規格であり、世界中のさまざまなメーカーの製品で採用されています。

Bluetooth 機能の対応バージョンとプロファイル

プロファイルとは、*Bluetooth* 機器の特性ごとに機能を標準化したものです。本機は下記の*Bluetooth* バージョンとプロファイルに対応しています。
対応*Bluetooth* バージョン：
Bluetooth 標準規格Ver. 2.1+EDR* 準拠
対応*Bluetooth* プロファイル：
- A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）：高音質な音楽コンテンツを送受信する。
- AVRCP 1.3（Audio Video Remote Control Profile）：音量の大小を操作する。

* Enhanced Data Rate の略

通信有効範囲

見通し距離で約10m以内で使用してください。
以下の状況においては、通信有効範囲が短くなることがあります。
- *Bluetooth*接続している機器の間に人体や金属、壁などの障害物がある場合
- 無線LANが構築されている場所
- 電子レンジを使用中の周辺
- その他電磁波が発生している場所

他機器からの影響

*Bluetooth*機器と無線LAN（IEEE802.11b/g）は同一周波数帯（2.4 GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。
- 本機と*Bluetooth*機器を接続するときは、無線LANから10 m以上離れたところで行う。
- 10 m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切る。

他機器への影響

*Bluetooth*機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本機および*Bluetooth*機器の電源を切ってください。
- 病院内／電車内／航空機内／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
- 自動ドアや火災報知機の近く

ご注意
- *Bluetooth* 機能を使うには、相手側*Bluetooth* 機器が本機と同じプロファイルに対応している必要があります。
  ただし、同じプロファイルに対応していても、*Bluetooth* 機器の仕様により機能が異なる場合があります。
- *Bluetooth* 無線技術の特性により、送信側での音声・音楽再生に比べて、本機側での再生がわずかに遅れます。
- 本機は、*Bluetooth*無線技術を使用した通信時のセキュリティとして、*Bluetooth*標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容等によってセキュリティが充分でない場合があります。*Bluetooth*無線通信を行う際はご注意ください。
- *Bluetooth*技術を使用した通信時に情報の漏洩が発生しましても、弊社としては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機と接続する*Bluetooth*機器は、Bluetooth SIGの定める*Bluetooth*標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。ただし、*Bluetooth*標準規格に適合していても、*Bluetooth*機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
- 本機と接続する*Bluetooth*機器や通信環境、周囲の状況によっては、雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。